

みなみ

ぼう

そう

南房総



第 79 号

令和 8 年 2 月 12 日

議会だより



南房総市

南房総市は
市制施行20周年

10 月臨時会 12 月定例会レポート

予算審査	4 p
9 人の議員が市政を質す ～ 一般質問 ～	7 p
議案審査	16 p
行政視察報告	19 p
研修報告	22 p
こんなまちづくりに期待します	23 p

第 19 回きらり写真コンテスト
一般の部入賞作品

「荒波を受け止める海岸」
宮本 直子さん

10月臨時会・12月定例会



10月臨時会は10月20日、12月定例会は11月25日～12月18日までの24日間開催され、報告2件、一般議案13件、予算5件、発委2件、請願1件を審議した。採決の結果、請願は不採択となったが、ほかは全て原案どおり可決した。

10月臨時会・12月定例会で決まった主なこと

○一般会計補正予算(第5・6号)

(第5号) 2億5,647万4千円追加。千倉地区複合施設建設工事費の増額など。

(第6号) 4億7,058万5千円追加。総額294億1,911万7千円。

○契約の変更 千倉地区複合施設建設工事

令和6年6月議会で議決した契約額20億9千万円から、

2億6,473万2,600円増額して、23億5,473万2,600円に変更。

○契約の変更 道の駅とみうら枇杷倶楽部大規模改修第Ⅱ期工事(建築工事)

令和6年12月、定例会で議決した契約額2億6,543万円から、

1億1,495万6,600円増額して、3億8,038万6,600円に変更。

○財産の取得 外房地区自己搬入施設2t回転式EV塵芥車2台

いすゞ自動車首都圏(株) 袖ヶ浦支店から、3,953万円で取得。

○財産の取得 白浜清掃センター4t可燃ごみ用角底深あおりダンプ2台

南関東日野自動車(株) 東部エリアから、2,005万2,080円で取得。

○交流複合施設「いこっと」設置管理条例の制定

千倉地区複合施設の供用開始に伴い、条例を定める。

○コミュニティセンター設置管理条例の一部改正

富山岩井コミュニティセンター団体室を岩井土地改良区の事務室として使うため、団体室を削除する。

○公園設置管理条例の一部改正

来年度から旧平群小等跡地を市立公園とする。

○市議選・市長選の選挙運動公費負担条例の一部改正

選挙運動用ビラ作成費等の限度額を引き上げる。

○水道事業関連条例の廃止と一部改正

令和8年度の水道事業統合に向け条例の廃止や一部改正を行う。

○個人番号利用・特定個人情報提供条例の一部改正

個人番号を使う事務に「就学援助費の支給」を追加する。

○常勤特別職の給与等条例・市議会議員報酬等条例の一部改正

常勤特別職と市議の期末手当を引き上げる。

○一般職の職員給与条例の一部改正

月例給・勤勉手当等を引き上げる。

○指定管理者の指定(令和8～12年度)

富山畜産ふれあい牧場は千葉県みるく農業協同組合。富浦漁港泊地は岩井富浦漁業協同組合。とみうら枇杷倶楽部・富楽里とみやま・「三芳村」 鄙の里・ちくら潮風王国・和田浦 WA・O! は、(株)ちば南房総を指定。

○介護保険特別会計補正予算(第2号)

会計年度任用職員の報酬改定で93万2千円を追加。

○国保病院事業会計補正予算(第1号)

給食材料費350万3千円と検査試薬費551万9千円増額。令和6年度の県補助金77万4千円を返還。

○水道事業会計補正予算(第2号)

報酬改定で人件費320万3千円を増額。修繕等の材料費200万円を増額。

令和7年南房総市議会第5回臨時会提出議案等議決結果

議案種類	件 名	議決結果
議案第 63 号	契約の変更について（道の駅とみうら枇杷倶楽部大規模改修第Ⅱ期工事（建築工事））	原案可決 全会一致
議案第 64 号	財産の取得について（2 t 回転式E V 塵芥車 2 台）	原案可決 全会一致
議案第 65 号	財産の取得について（4 t 可燃ごみ用角底深あおりダンプ 2 台）	原案可決 全会一致
議案第 66 号	令和7年度南房総市一般会計補正予算（第5号）	原賛成可決 賛成多数

令和7年南房総市議会第4回定例会提出議案等議決結果

議案種類	件 名	議決結果
議案第 67 号	南房総市交流複合施設「いこっと」の設置及び管理に関する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第 68 号	南房総市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第 69 号	南房総市議会議員及び南房総市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第 70 号	南房総市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原賛成可決 賛成多数
議案第 71 号	南房総市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第 72 号	南房総市コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第 73 号	南房総市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第 74 号	南房総市立公園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第 75 号	南房総市水道事業の設置等に関する条例等を廃止する等の条例の制定について	原賛成可決 賛成多数
議案第 76 号	契約の変更について（千倉地区複合施設建設工事）	原賛成可決 賛成多数
議案第 77 号	指定管理者の指定について（南房総市富山畜産ふれあい牧場）	原案可決 全会一致
議案第 78 号	指定管理者の指定について（富浦漁港泊地）	原案可決 全会一致
議案第 79 号	指定管理者の指定について（道の駅とみうら枇杷倶楽部）	原案可決 全会一致
議案第 80 号	指定管理者の指定について（道の駅富楽里とみやま）	原案可決 全会一致
議案第 81 号	指定管理者の指定について（道の駅「三芳村」 鄙の里）	原賛成可決 賛成多数
議案第 82 号	指定管理者の指定について（道の駅ちくら・潮風王国）	原案可決 全会一致
議案第 83 号	指定管理者の指定について（道の駅和田浦 WA・O・I）	原案可決 全会一致
議案第 84 号	千葉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少、千葉県市町村総合事務組合の共同処理する事務の一部廃止及び千葉県市町村総合事務組合規約の変更に関する協議について	原賛成可決 賛成多数
議案第 85 号	安房郡市広域市町村圏事務組合規約の変更に関する協議について	原賛成可決 賛成多数
議案第 86 号	令和7年度南房総市一般会計補正予算（第6号）	原賛成可決 賛成多数
議案第 87 号	令和7年度南房総市介護保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決 全会一致
議案第 88 号	令和7年度南房総市国保病院事業会計補正予算（第1号）	原案可決 全会一致
議案第 89 号	令和7年度南房総市水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決 全会一致
発 委 第 3 号	南房総市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原賛成可決 賛成多数
発 委 第 4 号	南房総市議会委員会条例及び南房総市議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原賛成可決 賛成多数
請 願 第 2 号	日本政府に「核兵器禁止条約の署名・批准を求める意見書」の提出を求める請願	不賛採択 賛成少数

議案ごとの賛否

議案名	議員名	小川 伸二	林 克治	吉田 年和	高倉 かつ江	川上 廣行	佐藤 喜久雄	神作 紀史	山田 一洋	鈴木 克哉	石井 教宇	阿部 美津江	安田 美由貴	川崎 慎一	長谷川 博	木曾 貴夫	鈴木 直一	川上 清	峯 隆司
議案第 66 号	令和7年度南房総市一般会計補正予算（第5号）	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	
議案第 70 号	南房総市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	
議案第 75 号	南房総市水道事業の設置等に関する条例等を廃止する等の条例の制定について	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	
議案第 76 号	契約の変更について（千倉地区複合施設建設工事）	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	
議案第 81 号	指定管理者の指定について（道の駅「三芳村」 鄙の里）	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	
議案第 84 号	千葉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少、千葉県市町村総合事務組合の共同処理する事務の一部廃止及び千葉県市町村総合事務組合規約の変更に関する協議について	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	
議案第 85 号	安房郡市広域市町村圏事務組合規約の変更に関する協議について	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	
議案第 86 号	令和7年度南房総市一般会計補正予算（第6号）	○	×		○	○	×	○	○	×	○	○	×	○	○	×	○	○	
発 委 第 3 号	南房総市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	×		○	×	×	○	○	×	○	○	×	○	○	×	○	○	
発 委 第 4 号	南房総市議会委員会条例及び南房総市議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	
請 願 第 2 号	日本政府に「核兵器禁止条約の署名・批准を求める意見書」の提出を求める請願	×	○		×	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	

議長



7億2,705万9千円追加で
総額294億1,911万7千円に

補正予算

10月20日の本会議と
12月12日の予算審査特
別委員会で、補正予算
を審査した。
主な質疑、答弁は次
のとおり。

◎一般会計補正予算 (第5号) (10月)

◇千倉地区社会体育施
設等整備事業
1億9837万円



整備中の千倉地区複合施設

問 公共施設等再編整
備基金を使うようだ
が、年度末の基金残高
は幾らになる見込み
か。
総務部長 約67億29
00万円を見込んでい
る。

問 資材費の高騰、労
務単価の上昇額は、複
合施設建設工事と幼稚
園跡地のかさ上げ工事
別で、それぞれ幾ら増
額するのか。
教育次長 物価スライ
ドによる変更額は、複
合施設建設工事は約
6千万円。旧忽戸幼稚
園かさ上げ工事は、物
価スライドの対象外。

問 引渡しまでに、こ
の額が今よりも増える
ということはあるか。
教育次長 現時点で、
見込んでいない。

問 2期工事として
プールの建設が予定さ
れているが、プールの
計画は、実行される可
能性はあるか。
教育長 教育委員会の
考えは、財政が許す限
り建設したいと思っ
ている。

問 市長も同じ考えか。
市長 教育長の答えた
とおり、財政的に実行
できるかどうかの判断
があり、施設の必要性
を含めて改めて考えて
いく必要がある。

問 物価高騰につい
て、事前に検討や予想
ができなかったのか。
教育次長 当初の契約
段階で次年度に何%上
がるのかという想定は
不可能。したがって、
物価スライド額を見込
まず予算を要求。その
後、スライド額の補正
をする形で進んでいる。

採決の結果 原案ど
おり可決

◎一般会計補正予算 (第6号) (12月)

◇給与費

8418万8千円
問 年間の期末手当を
4・6月分から4・65月
分に引き上げるようだ
が、常勤特別職と議長、

副議長、議員1人当たり
幾ら増額になるのか。
総務課長 市長 4万9
800円、副市長 4万
1640円、教育長 3
万8460円。
議会事務局長 議長 2
万4780円、副議長
2万1600円、議員
2万2200円。

◇外出支援サービス事業

32万4千円

問 外出支援タクシー
利用助成金32万4千円
の追加とあるが、利用
者数と交付枚数と利用
率はどうになっている
のか、おおよそ何
人分の予算か。
高齢者支援課長 11月末
現在で利用者数510
人、交付枚数1万47
60枚、交付枚数に対
する利用率は41・05%
となっている。また、
何人分の予算かは、予
算を人数による算出で
はなく、前年度の実績
や今後の見込みを基に
算出した。

◇Ｕ－Ｊターンによる
起業・就業者創出事業

40万円

問 申請は何件で、何件分の予算なのか。

企画財政課長 単身で移住をした方は60万円。2人以上の世帯で100万円。2人以上の世帯に18歳未満の子どもがいる場合は、1人でも2人でも3人でも一律100万円を加算する。単身世帯60万円が3件で180万円支出済み。

現時点で、単身世帯50万円1件と子育て世帯200万円2件の相談があり、460万円が必要。当初予算が600万円なので、差額40万円を補正。

◇学校等跡地利活用事業委託料

863万8千円

問 旧三芳幼稚園跡地と、なみはらくじらパーク敷地周辺の土地の登記事務と測量の委託料がそれぞれ幾らになるのか。

学校再編整備課長 旧三芳幼稚園跡地の分筆登記は112万5千円、なみはらくじらパーク敷地周辺の測量業務委託は751万3千円。

問 登記事務等の「等」とは何か。

学校再編整備課長 分筆を行う。

◇千倉地区社会体育施設等整備事業

1486万4千円

問 千倉総合運動公園の整備工事425万6千円と千倉総合運動公園野球場整備工事1060万8千円は、工事内容にどんな変更が生じて追加工事が必要となったのか。

千倉総合運動公園所長 施設管理整備車両が横断する側溝部分の変更に集水ますの追加。側溝の外側とのすりつけ部分等の天然芝の追加と、施設管理整備車両の出入口部分に係るアスファルト舗装。

野球場整備工事は、スコアボード、投球数表示板とピッチクロック表示ボード、施設管理整備車両車道の整備を追加整備。

反対討論

常勤特別職と議員の期末手当について、毎年度増額することには反対する。

採決の結果 原案どおり可決



なみはらくじらパーク



野球場 スコアボード

◎国保病院事業会計補正予算(第1号)

◎水道事業会計補正予算(第2号)

◎介護保険特別会計補正予算(第2号)

◇過年度損益修正損

77万4千円

問 県補助金返還金返還理由は、

国保病院事務長 補助金の交付方法の変更により、概算払いされたものを精算し、返還するため。

採決の結果、原案どおり可決

問 正職員が20人、会計年度任用職員17人となっているが、来年度の

安房広域の職員の配置はそれぞれどのようになるのか。

水道局長 正規職員は身分移管もしくは出向で20人が安房郡市広域市町村圏事務組合水道部に配置される。

会計年度任用職員は17人が安房郡市広域市町村圏事務組合水道部に雇用されることになっており、現在手続を進めている。

来年度の職員配置の詳細は、安房郡市広域市町村圏事務組合の公示が発表されるまでは不明。

採決の結果、原案どおり可決

◇会計年度任用職員の報酬改定

93万2千円

採決の結果、原案どおり可決



阿部美津江議員

5歳児健診を導入する考えは

多くの取り組みを実施しているため導入は必要ない

5歳児健診

問 現在の取り組みに加えて5歳児健診を補完的に導入することとは検討されたか。

教育次長 特性を早期に把握し必要に応じて保健・医療・福祉・教育の連携に結びつけているので検討したが必要ないと判断した。

問 発達に特性がある子供や不登校の増加など子供や家庭が抱える問題も複雑化することも予想されるが、将来的に改めて検討する考えはあるか。

教育長 現段階では今の体制を充実しつつ状況に応じて考えていく。

3歳児健診

問 3歳児健診未受診者への働きかけは。

教育次長 電話等で受診勧奨している。それでも受診しない場合は、虐待予防の観点から保健師が家庭訪問を行い、視力などの検査・発達の確認・家庭環境・対象児童の様子を確認している。

問 受診日程が平日の6回だが、就労されている保護者への配慮は十分なのか。

教育次長 4歳になるまでに3〜4回受診ができる機会を設けている。また、仕事などの理由で受診できない場合は、対象児

の様子が分かる祖父母等が保護者代行で受診することが可能。

こども誰でも通園制度

問 令和8年度から全自治体で事業実施とされているが、進捗状況は。

教育長 公立保育所での余裕活用型を基本方針としスムーズな制度の導入を進めたい。

問 一時的保育事業・こども誰でも通園制度の料金体制の差異があるが対応策は。

教育次長 経済的負担を軽減できるように対応策を検討中。



小型家電回収

問 小型家電回収ボックスの設置状況と回収成果は。

市長 回収はほぼなかったもので現在は設置していない。

問 処理業者への運搬想定費用は。

建設環境部長 本年度乾電池も合わせて内房地区は65万

建設環境部長 本年度乾電池も合わせて内房地区は65万

円程度・外房地区は150万円程度を見込んでいる。

問 家庭から出る一般的な品目などを掲載した50音別の分類一覧表を作成しホームページや公式LINEから確認できるように工夫されたい。

建設環境部長 多様化しているの

で検討する。





石井 教字議員

市街地でのイノシシ出没時の緊急銃猟体制の整備

マニュアル作成は有害鳥獣協議会等で検討

イノシシ緊急銃猟マニュアルの策定

問 マニュアルの策定の進捗状況は。

農林水産部長 県外での

マニュアルの内容を確認している。

県内で作成された自治体はまだない。3市1町で統一したマニュアルの作成を協議したい。

問 3市1町でイノシシ駆除に取り組む

体制が違うので時間がかかるのではないか。本市単独で作成する考えはないか。

農林水産部長 まず3市

1町で協議を進めていく。

問 銃猟駆除に携わる方々の実技研修等の受講経費等の負担軽減は考えているか。

農林水産部長 有害鳥獣

協議会などで内容を協議し決定していく。

問 ハンターの確保と育成についてどう

取り組んでいくのか。

農林水産部長 本市に住

り、要件を満たす方にはわな猟・銃猟免許取得時に要した費用の一部助成をしている。

また安房拓心高等学校での実習を通して若い

人に有害鳥獣対策の取り組みを周知しているほか、館山市と合同で講習会を開催している。

問 ガバメントハンターの育成は。

農林水産部長 先進事例

し、今後、有害鳥獣対策協議会などと協議した上で検討していく。



一斉駆除の様子

地域全体の安全確保の体制整備

問 今まで見なかった地域にもイノシシが出没するようになった。

遭遇した時は、どこに連絡するのか。

農林水産部長 警察、安

興事務所、農林水産課で対応する。

問 管理者のいない家

屋に棲みついたイノシシについて、相談先と対応は。

農林水産部長 警察、農

林水産課に連絡をしてほしい。現状の状況を踏まえた中で検討していく。

問 頻繁に出没する場所

に注意喚起の看板を設置する必要があるのでないか。

農林水産部長 市内各所

で散見されているので、特定の場所へ看板を設置するのはなく、広報紙等で注意喚起を行っていく。



山田 一洋議員

給食センターを含めた公共施設の有効利用は

あらゆる面から検討をしていく

有害鳥獣対策

問 専門部署を設けがバメントハンターを雇い入れる考えはなにか。

市長 現時点では考えていない。専門職員の任用は、有効な対策の1つと考えるが、今後有害鳥獣対策協議会などと協議した上で検討していく。

学校給食センター

問 生徒数が減り続けたら、どちらかのセンターを廃止するのか、余っている能力を民間事業者の給食などに使うことは考えられないか。

教育長 児童・生徒数が減少し、各学校給食センターの提供食数が配食可能数を下回ってきている状況。廃止について、いずれかの時点で検討する時期が来ると考えている。

なお、試行的に令和5年度にボランティア3団体に配食し、給食試食会も行っている。

問

食料費とそれ以外の経費の朝夷給食センター発足当時から6年後の経費は。

教育次長

令和4年度決算で

1人当たりの食料費約6万3600円。令和13年度は物価上昇を見込み7万7千円程度と想定。食料費以外の運営経費は、令和4年度が1人当たり5万6千円、令和13年度は、1人当たり14万8千円程度と試算。

問

公共施設のもったいないを少しでも改善できればと考えるが。

教育長

給食センターに限らず、いろいろな使い方ができないかと常に考えている。いずれにしても、公共施設の有効活用は考えていきたい。

草刈り作業

問 市内のごみゼロ運動、特に草刈り活動は維持できるのか不安。

市長

地域の実情に即した支援制度を検討していく。

問

新潟県津南町では景観維持のため田んぼの畦畔の草刈りを

農林水産部長

農業に携わる方を

する住民に対し、時給を補助するという制度があるようだが。

増やす取組というのは大変重要。今後、津南町の先進事例を検証し地域の特性や実情に合った支援制度を検討していく。



学校給食センター



草刈り作業



佐藤喜久雄議員

視覚障害者に対する新たな支援策は

音声コードを導入することを考えている

視覚障害者支援

問 今後、視覚障害者に対する新たな支援策は何か考えているのか。

市長

視覚障害者が情報を得やすい環境を整えるため、障害者向けの制度の案内などに音声コードを導入することを考えている。

問

特に最近では急速なデジタル技術革新に伴い、海外も含めスタートアップ企業等による様々なスマート白杖や視覚障害者向けの移動支援機器が販売されていることから、こうした補装具等についても早急に助成の対象とすることが必要と思

われるが、市としてはどのように考えているのか。

保健福祉部長

視覚障害者向けの最新技術を取り入れた日常生活用具である移

動支援機器などは、視覚障害者の生活向上に大いに貢献することが期待されている。しかしながら、新たな技術を導入するには、その効果や必要性を十分に

検討することが重要になるので、まずは適切な調査を行って、その結果を踏まえて、導入の可否について検討していきたい。

問

例えば移動支援機器「あしらせ」は、コンパクトな機器を靴に装着して、その振動で道案内をする製品であり、既に多くの自治体が助成対象としており、こうした機器であるならば、障害者支援の観点から迅速な助成の決定が望まれるが、市としての考えを伺いたい。

保健福祉部長

移動支援機器「あしらせ」は、既に他の自治体で日常生活用具として助成対象となっており、当市でも導入の検討をするため、導入

済みの自治体への聞き取り調査を行い、その実績や使用者の反応を確認した上で、導入の検討を行っていきたいと考えている。





高倉かつ江議員

民生委員の現状と活動に対する支援

担い手確保も含め、総合的な支援を行っていく

問 民生委員の現状認識は。

市長 12月1日からの委嘱予定者は、民生委員・児童委員で3人の欠員。

問 欠員が出た場合の具体的なフォロー体制は。

保健福祉部長 見守りが必要な方の訪問や物資の配布といったあんしん見守り事業は、区の役員や地区社協に協力を依頼。

問 提出書類の簡素化やデジタル化は。

保健福祉部長 活動されている委員の方々の意見を取り入れながら、可能なものから進めたい。

問 現在の活動経費（実費弁償金）は、委員の実際の活動に見合った額となっているか。

市長 人口10万人未満の20市平均を上回る額を支給。

問 具体的な支援活動は。

市長 支援を必要とする方と行政、関係機関をつなぐパイプ役を安心して務められるよう、活動内容を広く周知する。



トレーニングルーム利用者の手続

問 簡易なデジタルシステムを導入すべきと考えますが、市の見解と改善方針は。

教育長 今後の利用者拡大、利便性を考え、データ管理、集計作業の効率化と受付の簡略化のため、デジタルシステムの導入の是非を検討していく。

問 利用受付時の記入内容については。

教育長 可能な限り簡略化を進めていく。

千倉地区複合施設について

問 整備の進捗状況は。

教育長 千倉地区複合施設建設工事の建物部分は予定どおり工事が進んでおり、令和7年12月末には完成する予定。外構工事は当初の工事計画より遅れており、令和8年8月末に完成の予定。令和8年4月1日に仮オープンとし、図書館とコミュニティセンターを供用開始し、令和8年9月中頃に全施設のオープンを予定。

問 オープニングイベントは。

教育長 すべての工事の完了後にオープニングイベントを実施予定。

問 外構工事の財源は。

教育次長 公共施設等再編整備基金を主な財源として活用。



工事中の千倉地区複合施設



太陽光発電施設



林 克治議員

一 般 質 問

再エネ発電の安全性は市民の理解を得られるか

御理解いただけるものと考えている

自然エネルギー 発電

問 メガソーラーを含めた自然エネルギー発電に対して市はどう考えているか。

市長 ゼロカーボンシ
ティ実現に向け、太陽光などの再生可能エネルギーの活用を推進する必要があると考えている。

問 メガソーラー事業に関する問合せや事業提案は実際にあったのか。

市長 直近ではメガソーラー事業に関する問合せや事業提案はない。平成26年に出力約2・4メガワットのメガソーラー発電所

が、南房総市加茂地区から館山市にまたがる約3万3700平方メートルの敷地に設置されている。

問 定期的な水質や地質調査を行っているのか、近隣住民からの苦情等はないのか。

建設環境部長 事業完了後は、法令に検査義務がないので、検査を実施していない。県や市には近隣住民から苦情等は入っていない。

問 今後、メガソーラー事業の提案があった場合どのような対応を考えているか。

市長 一部のメガソーラー事業のよう
な環境破壊につながり

得る開発事業は、宅地造成及び特定盛土等規制法や森林法に基づく開発の規制により、県も含めた関係機関と協力して対応していく。

問 メガソーラーを規制する市独自の条例を制定する考えはあるか。

市長 国によりメガソーラーを法的に規制する施策の検討が始まったことから、動向を注視し、メガソーラーに係る市独自の規制について必要性も含め検討を進める。

問 どれぐらいの期間で条例制定できる想定か。

建設環境部長 はっきりとした期

間は提示できないが、早めに調査を開始して速やかに条例が制定できるよう準備を進めていく。

問 現時点で南房総市にメガソーラーの事業提案があった場合、市民の安心安全は担保できると断言できるか。

建設環境部長 宅地造成及び特定盛土等規制法や森林法に基づく開発の規制により、県を含めた関係機関と協力してしっかりと対応していきたいと考えている。

一般質問

問 成人歯科検診は健康寿命の延伸や医療費抑制に直結する重要な取組と考える。しかし、受診率は目標値と大きな差がある。この現状をどう受け止めているか。

保健福祉部長 歯科検診は生活習慣病の予防に有効であり重要と認識している。受診率は県平均より高いものの、今後も受診率向上のための取り組みが必要と考えている。

問 目標は11～14%であり、現状は2%台にとどまっている。特に20代・30代はほぼゼロだ。若い世代

予防医療



小川 伸二議員

予防医療をどのように強化していくのか

成人歯科検診事業の改善と自立支援事業を推進

に制度が届いていないのではないか。

保健福祉部長

現行の周知方法

には課題があり、若年層への伝え方については改善が必要と考えている。



問

リエイブルメント事業のモデル事業ではどのような成果が出ているのか。

保健福祉部長

歩行能力や日常生活活動の改善、生活への意欲向上など、具体的な効果が確認されている。利用者からも前向きな声が寄せられている。

問

プログラムの年間受入規模は約60人と限られている。今後の拡充は可能か。

保健福祉部長

定員拡大の必要性は認識しているので、検討を進めたい。

国家戦略特区

問

耕作放棄地の解消や農地利用の円滑化といった地域課題も、特区の枠組みで検討できるのではないか。

総務部長

地域の実情に応じた新たな規制緩和も提案できる制度なので、農地の利活用についても、提案の対象となり得る。

問

特区活用に向け、職員の気づきや提案を拾う仕組みはあるのか。

総務部長

現時点ではないが、情報共有の工夫を検討していきたい。

問

庁内での共有の仕組みは整っていないとのことだが、県と連携しながら、小さくても検討を始めることが重要ではないか。

総務部長

特区制度の周知を進め、事業者や地域からの相談を踏まえ、県と連携しながら対応していきたい。

一般質問



安田美由貴議員

15万冊規模の新図書館・司書を大幅に増やすべきでは

来年度、1人採用予定

15万冊規模の新図書館

問 同規模の横浜市立磯子図書館の司書は7人。常勤の司書を大幅に増やすべきではないか。

教育長 来年度に司書を1人採用予定。

市長 1人の追加では少な過ぎないか。

施設が有効活用され機能するよう、人の配置を考えたい。

読書のバリアフリー化

問 館山市図書館の基本運営方針には「図書を読むことが難しい人や子どもの特性に応じて読書を楽しむだけではないよう、大活字本や音読CDなどの視聴覚資料・点字資料などの充実を図る」とある。

南房総市図書館では、図書を読むことが難しい人に対して、読書のバリアフリー化を進める運営方針にしないのか。

教育長 今後、立ち上がってからの具体的に検討する。

図書館カード

問 図書館カードの申込書を、市HPからダウンロードできるようにすべきではないか。本の貸し出しを10冊までにできないのか。

教育次長 今後、検討する。

電子書籍の貸し出し

問 南房総市の図書館では、館山市のように電子書籍の貸し出しを行う予定はないのか。

教育次長 導入予定はない。

東京湾口道路

問 東京湾港道路の建設は、莫大な工事費・通行料金の高騰・人口流出が考えられる。国には、国道の修繕要望や、生活道路修繕への財政支援を求めることを優先すべきではないか。

市長 東京湾口道路の整備効果は高い。どちらも漏れなく国へ働きかける。

道路緊急ダイヤル

問 東京湾アクアラインは、開通から29年で建設費の返済が約2千億円残っている。リスクには、どう対応するのか。

市長 半島性からの脱却が大きなテーマ。道路整備を地域振興につなげる発想での未来づくりが重要だ。

問 道路の落物や陥没などを通報する、道路緊急ダイヤル#9910とLINEアプリを周知すべきではないか。

建設環境部長 広報紙などでも周知する。



道路緊急ダイヤル
LINE アプリ二次元コード



鈴木 克哉議員

学校給食米の調達は中立公平性から入札とすべきではないか

入札や公募型方式を今後は検討していく

**給食に使用する食
材の調達**

問 物価高騰が続く
中、学校給食、特
に米の価格上昇が給食
運営にどのような影響
を与えているか。

教育長 食料費や光熱
費の上昇によ
り学校給食の運営には
大きな影響が出ている。
中でも米は価格上昇が
著しく、安定的な調達
を行いながら給食の質
を維持していく事が重
要な課題。

問

現在、給食米は市
内三者の農業法人
より随意契約で調達さ
れているが随意契約は
本来例外的な契約手法
であり行政として中立
公平性の立場から入札
による調達を検討でき
ないか、また随意契約
を継続している理由は。

教育長

学校給食は毎
日提供する必
要がある事から、安全
性や品質、供給の安定
性を重視し総合的に判
断した結果、現時点で
は随意契約が適してい
ると考える。

問

随意契約が続く
ことで入札のよう
な価格競争が起きず、
また参入できる事業者
が限られるとの指摘も
ある。今後入札を含め
た調達方法の見直しは検
討できないのか。

教育長

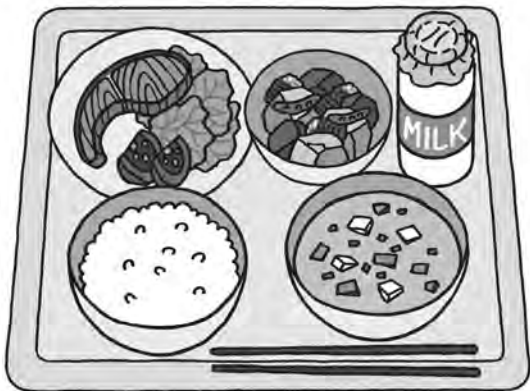
物価高騰の影
響や調達方法
に関する課題について
は給食の質と安定供給
を確保することを前提
に、制限付競争入札や
公募型方式を含め調達
方法のあり方を今後検
討していく。

問

随意契約から制限
付入札を検討す
る事の事だが、エコ米指
定や精米機、石抜き機
さらには食彩選別機な
どの設備が制限となる
と、一般的な農家は参入
が難しくなるのではな
いか。

教育長

現在はエコ米
を前提にして
いるが、生産量や安心
安全な精米を条件に輸
送費がかからない地産
米であれば個々の農家
の参入の可能性も出て
くると思う。



総務

交流複合施設「いこっと」が 令和8年4月オープン!

12月10日、総務委員会が開かれ、付託された議案を審査した。
主な質疑・答弁は次のとおり。

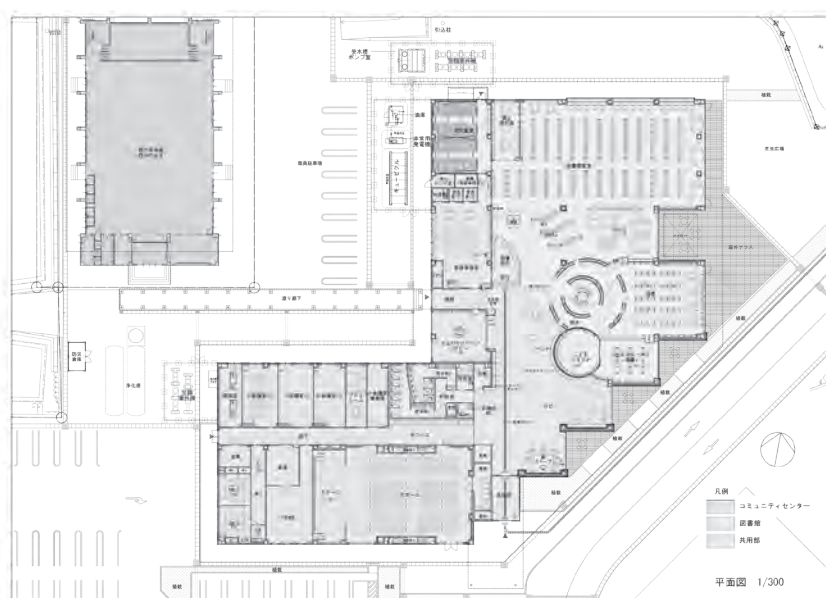
◎交流複合施設「いこっと」の設置管理条例

問 公民館やコミュニティセンターの利用料金に差異があるが、「いこっと」の施設使用料はどのように設定したのか。
生涯学習課長 他のコミュニティセンターと同程度の広さの部屋の料金を参考に、部屋の機能を勘案した上で、同等の料金体系とした。

問 各施設の面積が全く同じではないので、統一の料金設定は考えに無いのか。

市民課長 行政改革の一環として、統一的な見解で決定したもので、電気料等の原価計算を基本として、部屋の広

さ50㎡までを1時間110円、50㎡を増すごとに110円を加算している。



交流複合施設「いこっと」平面図

問 市民のニーズも多様化している社会にあって、絵画の展示販売や、プロによるミニコンサートなど、芸術に関わる活動に対して提供できる場という観点も必要と考えるが。

- 教育長** 公民館は社会教育法等の縛りがあり、中で物品販売や映画会・音楽会を催したときに必要な料金をいだけないが、コミュニティセンターは、応分の料金授受は可能である。
- ◎個人番号の利用・情報の提供に関する条例の一部改正
 - ◎市議・市長選の選挙運動公費負担条例の一部改正
 - ◎常勤特別職の給与・旅費条例の一部改正
 - ◎一般職の職員給与条例の一部改正
 - ◎契約変更（千倉地区複合施設建設工事）
 - ◎規約変更（千葉県市町村総合事務組合）
 - ◎規約変更（安房郡市広域市町村圏事務組合）

採決の結果、原案どおり可決

核兵器禁止条約署名・批准を 求める意見書提出を求める請願 総務委員会で採択

総務

12月10日の総務委員会で、請願を審査した。

請願趣旨説明

紹介議員 「核兵器禁止条約」は2017年が採択され、2021年に発効した。

2024年12月にノーベル平和賞を受賞した被団協の組織団体である、安房地域の「被爆者同友会」は、平和行進や反核フェスティバルを通して、核兵器廃絶を訴え続けている。2006年に「非核・平和都市宣言」をしている市の議会として、日本政府に対し「核兵器禁止条約の署名・批准を求める意見書」を提出するよう、請願する。

反対討論

核兵器のない世界の実現というその理念には何ら異論はないが、核兵器禁止条約のみをもつて、核廃絶が進むとは言いがたい。核保有国が参加していない条約への一方的な参加は、国際的な合意形成を困難にするおそれがあるので、反対する。

賛成討論

・南房総市だけでなく、日本各地からの働きかけの積み重ねが、政府の判断を促して国際的な話し合いにつながる。その第一歩なので、賛成する。

・地方議会として、核のない未来を望む意思を示すことは一定の意味がある。被爆国の立場を踏まえて、多くの市民が抱くであろう「核は持つべきではない」という感覚に、賛成する。

採決の結果、賛成多数で採択

福祉

富山岩井コミュニティセンター団体室を 岩井土地改良区に貸し付け

福祉

12月10日、福祉委員会が開かれ、付託された議案を審議した。
主な質疑・答弁は次のとおり。

◎コミュニティセンター設置管理条例の一部改正

岩井土地改良区が、富山岩井コミュニティセンター団体室を事務室として使うため、貸出施設から団体室を削除する。

問 事務所をいつ頃からいくらで借りていたのか。

富山地域センター所長 平成15年頃から、無償で借りていたと聞いている。
問 いくらで貸し付けて、契約期間はどうか。
富山地域センター所長 18万3638円。契約は1年更新。

◎指定地域密着型サービス事業所の運営基準等条例の一部改正

栄養士免許を取らなくても国家試験に合格すれば管理栄養士になれる栄養士法の改正に伴う改正。

問 条例に該当する施設とのうち管理栄養士がいる施設は何件か。
高齢者支援課長 いずれも1件。

採決の結果、原案どおり可決



富山岩井コミュニティセンター団体室

へぐり伊予ヶ岳公園 令和8年4月1日オープン!

産 業

12月9日、産業委員会が開かれ、付託された議案を審査した。
主な質疑・答弁は次のとおり。

◎市立公園設置管理条例の一部改正

問 公園の名前に対する応募数は。

学校再編整備課長 応募数は98件。その中でへぐり伊予ヶ岳公園は38票。

問 年度内に完成予定か。

学校再編整備課長 4月1日供用開始予定。

問 駐車場は地元祭礼時にも使えるか。

学校再編整備課長 地元の祭礼で使うことを踏まえ、一部碎石舗装をし段差のない仕様とした。

◎指定管理者の指定

・富山畜産ふれあい牧場

問 県下から牛を集めているのか。

農林水産課長 市内から12軒、館山市1軒、鋸南町1軒。

問 頭数は。

農林水産課長 安房管内は平均90頭から100頭で推移。

・富浦漁港泊地

問 富浦漁港は、指定管理のみで、指定管理料は発生していないか。

農林水産課長 指定管理料は発生していない。

問 ボートなどの利用料金を上げてはどうか。

農林水産課長 今後協議を進めていきたい。

・道の駅とみうら枇杷倶楽部

問 ビワの担い手を増やすための努力をしているか。

観光プロモーション課長

ビワ農家を目指す地域おこし協力隊を毎年1人程度採用。令和3年に採用された方は、令和7年の9月で卒業し、ビワ農家としてひとり立ちしている。令和4年に採用の方は、令和8年9月まで任務予定で、その後ビワ農家を継いでいくように育成。

問 道の駅を利用するお客様に対する接客指導は行っているか。

観光プロモーション課長 (株)ちば南房総で講師を招き、接遇研修を行っている。

・道の駅富楽里とみやま

・道の駅「三芳村」鄙の里

・道の駅ちくら・潮風王国

・道の駅和田浦WA・O!

◎水道事業の設置等に関する条例等を廃止する等の条例

採決の結果、原案どおり可決



整備中のへぐり伊予ヶ岳公園

充実した広報の現状を 福島県川俣町で視察

総務委員会



総務委員会では、広報紙が回覧されても手付かずのまま回収されているという話を聞き、広報紙発行に何か課題があるのではないかとということで調査を行っています。

市の発行する「広報みなみぼうそう」を市民の皆様身近で親しみを持って読んでいただけるよう、斬新で先進的な取り組みを行っている福島県川俣町を訪問しました。

川俣町は、平成28年度以後、全国広報コンクールで入賞を繰り返し、令和5年度に総務大臣賞を受賞しています。

令和元年度の入賞後広報紙作成にあたった現担当者は、前担当との引継ぎがうまくい

かず苦労したことから、今までコンクールで入賞してきた実績へのこだわりを捨て、独自の手法で取り組んだそうです。

まずは町民が手にしたいと思う表紙の写真とその取材に尽力しました。次に、自らの取材で得た情報をもとに広報紙に新コラムを立ち上げ、町民の関心に応じてきたとのことでした。

また、広報紙を作るにあたり川俣町で働く人、モノ、笑顔を中心テーマとして紙面を構成し、取材活動の中心としてきたとのことでした。

本委員会では、視察に先立ち「広報みなみぼうそう」に関するアンケートを行いました。

「広報紙を読んでいますか」との問いには、毎月読んでいるという方が46%、時々読んでいるという方と合わせると76%です。

「広報みなみぼうそ



う」は市民にとって大事な情報源であることがわかりました。これから「広報みなみぼうそう」に川俣町の取り組みが生かされるよう、さらに市民のみなさまに関心を持ってもらえるよう当局に提言していきたいと思っています。

総合健診受診率トップの 岐阜県郡上市を視察

福祉委員会

私たち福祉委員会では市民がもっと健康に暮らしていくために「健康の在り方」をテーマとして取り組んでいきます。市で実施している特定健診を受診していただく事はとても重要な事ではないか。そして皆さんが健康に過ごすための第一歩ではないか、と考え総合健診などの受診率、その中でも特に若い世代への受診率アップに取り組んでいる岐阜県郡上市を11月20日に視察しました。

す。南房総市の特定健診率33・9%（令和4年度）に対し、59・2%と非常に高く、今もなお受診率向上のために受診率65%を目標に取り組んでいるそうです。

話を伺った担当課（健康課・保険年金課・高齢福祉課）によると「郡上市特定健診受診率向上対策」と銘打って、まずは市民にとって健診を受けやすい体制づく

りから始め、がん検診などとセットで受診ができる受診しやすい体制づくりを目指しました。また担当職員の意識の改革・向上もスタートさせ、市民が集うあらゆる場所に行き、健診啓発を実施し時には寸劇にて市民への理解促進を図ったそうです。

その他、ポスターを作成し市民の目に付きやすい場所、医療機関、薬局、公民館、喫茶店や理美容などにも掲示し周知を行なってきたとのこと。

今回の郡上市の取り組みを一つの参考として本市の特定健診受診率アップに向け、活かしていきたいと強く感じました。

郡上市は、平成16年に7つの町村が合併をしてできた市で、人口3万7千人、高齢化率39・4%、出生数は令和6年度で138人と本市と同じような規模であり山間に位置する市で



海業推進を学ぶ 富山県黒部市及び魚津市を視察

産業委員会

今年度産業委員会では南房総市でも問題になっている漁業後継者問題、磯焼けによる魚種の減少対策、また海を利用したレジャーによる集客、海業をテーマとして活動しています。

得ていました。また、堤防での釣り客を誘致するため、ヒラメや石鯛を放流していました。

ただ市営のためフィッシャリーナの塗装費用など維持費の問題があるようです。

現在世界的に海洋環境の変動が激しく3方を海に囲まれ漁業、観光への影響の大きい地域としては今後の対応として先進的な取り組みを行っている黒部市石田漁港、魚津漁業協同組合を10月8日、9日と視察しました。

まず黒部市石田漁港を視察して市営漁港のため比較的自由度があり、漁港の半分近くをマリーナとしてヨットや

プジャーボートの係留所として解放し収入を

得ていました。また、堤防での釣り客を誘致するため、ヒラメや石鯛を放流していました。ただ市営のためフィッシャリーナの塗装費用など維持費の問題があるようです。

南房総市内には沢山の漁港があり高齢化

の漁港があり高齢化

ど維持が難しくなっている場所もあります。海の資源をどう活用するかは今後この市の漁業後継者育成に直結する問題であり、減少する海洋資源に対し収入確保の方策を漁業関係者とともに考え、海業が単なる漁業支援策ではなく、地域経済全体を押し上げ、社会課題を解決するための総合的な地域政策であることを再認識し、市営漁港と県営漁港の違いなど克服しなければならぬ課題もありますが、この地域ならではの取り組みを考えていこうと思います。



令和7年10月29日牧瀬稔氏を講師に迎え、 議会基本条例に関する研修会を開催

議会運営委員会では、議会基本条例の制定の検討の参考とするため、令和5年度から流山市議会、茨城県稲敷市議会の事例を調査してきましたが、議員全員の総意が必要であり、共通の認識が大事であると考え、講師を招き研修会を開催しました。

講師は、地方自治に詳しい関東学院大学法

学部地域創生学科の牧瀬稔先生をお願いしました。

講義の内容としては、

- 1 議会の役割
- 2 議会基本条例の状況
- 3 議会基本条例制定の留意点

等を中心に詳細に説明をいただきました。

議会基本条例の目的は、議会及び議員の責



講師 牧瀬 稔氏

務、議会の運営原則並びに議員の活動原則その他議会の基本理念を定めることにより、市民の負託に的確に応え、市民福祉の増進に寄与することです。以下、研修のポイントは次のとおりでした。

- ・ 議会基本条例の制定自体は難しくないが、制定した条例を運用していく事が難しい。
- ・ 議員間討議や反問権などは、今まで以上に議員が政策について勉強しなくてはならない。
- ・ 議会報告会では、住民への説明責任が問われる（議員一人ひとりに覚悟が求められる。）
- ・ 条例制定を行うのは、議員（議会）であり、その議員（議会）を後方支援するのは議会事務局であるため、議会

事務局の強化も必須である。

- ・ 議会基本条例は議会活動の標準装備となりつつあるが、中途半端に制定すべきでは無い。
- ・ 昨今は、議会基本条例の制定ばかりが話題になるが、制定しないという判断も立派な政

策づくりの一過程になる。ただし、しっかりとした根拠をもって制定しないという必要がある。

議会基本条例の制定には、良く議論を重ね、取り組む必要があると感じました。



研修会の様子



こんなまちづくりに 期待します

「魅力ある街づくり」



みよし ようこ
三好 洋子さん

他県の車がズラリ・・・。

千倉で開かれる産業まつりは、ネット等の浸透もあり、にぎやかである。

他県との交流ブースも魅力の一つである。

南房総市は、第一次産業と観光が基幹産業であるので、それらを大切に育てていく事が重要で、一つは健全な都市交流を活発化していく。

また、水や空気をきれいにしてくれる森林や海を大切に美しい環境を未来の世代に引き継いでいく事も、地方の在り方にとって極めて重要である。

更に、高齢化による（身体・心・社会性・口の衰え）フレイルのケアも、健康で楽しめる人生を送る上で重要。

このように、都市部との健全な交流や、この地域の自然や文化、人々の生活が個性を持って共生していく事が求められる。

行政も、住民の福祉の向上や豊かな自然環境等の地球資源を生かす地域づくりを行って欲しい。

最後に、生まれも育ちも海なし県で育った者にとっては、南房総市は、正にシャングリラ（理想郷）。もっと謳歌してほしい。

「国道 127 号の歩道の改善を！」



よしおか まさこ
吉岡 正子さん

日頃から、国道127号は危険な道路だなあと感じていました。

ある日、岩井のメイン通りのスーパーで買い物を済ませて、車で出ようとしたその時、自転車でおどやに入ろうとした人が、突然、車道側に倒れました。

幸い、車の通行がなかったので、事故にはならず、ほっとしました。

歩道も狭く、すぐに車道の線があり危険だと感じていたので、友人や知人に話したところ「あそこでは何人も転んで怪我をしているよ」「狭い歩道の凸凹にまずいた人を見かけている」と聞きました。

このような生命の危険につながる状況は、早急に対応していただきたい。無駄をやめて必要なところに、税金を使っていただきたいものです。

議会広報編集特別委員会では、市民の皆様のもちづくりに対するご意見・ご要望の投稿を募集しています。掲載を希望する場合は、本文は400字以内、顔写真が必要です。

連絡・投稿先 南房総市富浦町青木28番地

議会広報編集特別委員会 TEL 0470-33-1111 FAX 0470-20-4595



表紙の写真を募集します



市議会では年4回（5月・8月・11月・2月）議会だよりを発行しています。開かれた議会を目指し、より市民に親しまれるため、表紙写真を募集しています。

募集する写真

市内で撮影された四季の風景、イベントなど

応募資格

市内在住・通勤・通学の人



応募方法

住所・氏名・電話番号・撮影場所・撮影日時を記入のうえ、議会事務局へ電子メール、もしくは郵送・持参してください。
（データで送る際はサイズ2MB以上3.5MB未満でお願いします）



応募上の注意

- ・市内で撮影された、カラー写真に限ります。
- ・応募写真に個人を特定できるような人物（第三者）が写っているとき、または撮影した対象物が個人の所有物である場合は応募者の責任で人物（被写体）、または所有者の承諾を得てください。
- ・採用された場合、表紙に氏名を掲載させていただきます。
- ・ご応募いただいた写真などは原則返却いたしませんので、あらかじめご了承ください。

選考方法

市議会広報編集特別委員会が選考します。

お問い合わせ

南房総市議会事務局
住 所：〒299-2492
南房総市富浦町青木28
電 話：0470-33-1111
メール：gikai@city.minamiboso.lg.jp

南房総市議会 YouTube チャンネルでライブ・録画配信しています。スマホでも視聴できます。

市ホームページ

市議会

市議会インターネット中継（二次元コード）



からご覧ください。
（配信期間は約2カ月です。）

3月定例会は
2月12日(木)

午前10時から
予定しています

傍聴手続きは簡単!!

市役所2階で住所・氏名
を書くだけです。



編集室より

先日挙行された「はたちのつどい」に出席いたしました。当日は房総半島最南端の強烈な西風の歓迎を受けましたが、それもまた印象深い門出となったのではないだろうか（私の時は珍しく大雪でした）。
さて、間もなく交流複合施設「いこつと」が、そして「へぐり伊予ヶ岳公園」が供用開始となります。新たな拠点が市民活動や憩いの場として親しまれ、地域がより豊かになることを期待しております。
最後になりますが、議員任期も残りわずかとなりました。これまでの皆様のご理解とご協力に心より感謝いたします。今後も、議会をより身近に感じていただけるよう努めてまいります。